

iTrustエコイノベーション 愛称 EV(電気自動車)/エコ・ロボなど様々な環境テーマが投資対象 追加型投信/内外/株式 [設定日:2017年9月15日] 月次レポート 2021年10月29日現在

ファンドの特色

- 1 主に世界の環境関連企業の株式に投資します
 - 2 特定の銘柄、国や通貨に集中せず、分散投資します
 - 3 ご購入時、ご換金時の手数料はかかりません
- ※ファミリーファンド方式で運用を行います。
 ※実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
 ※資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ピクテは
 テーマ株式アクティブ運用残高 ▶ **世界No.1***

*グローバル(各国内市場含む)で販売されたテーマ株式ファンド(アクティブ運用)の運用会社別資産残高で1位
 出所:ブロードリッジGMI(2021年6月末時点)

「投資リスク」の項目も必ずお読みください

運用状況

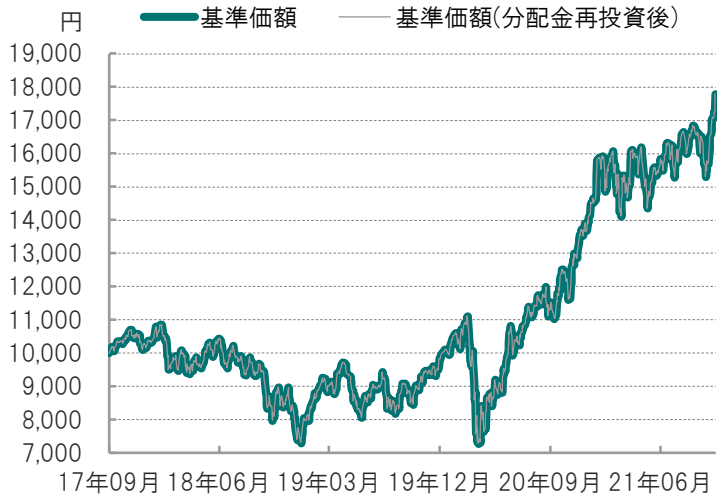
ファンドの現況

	当月末	前月末比
基準価額	17,788 円	+1,950 円
純資産総額	14.1 億円	+1.6 億円
マザーファンド純資産総額	880.6 億円	+87.2 億円

ファンドの騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	12.31 %
3ヵ月	10.78 %
6ヵ月	12.72 %
1年	52.01 %
3年	111.56 %
3年(年率)	28.37 %
設定来	77.88 %
設定来(年率)	14.99 %

設定来の推移



分配金実績(1万口あたり、税引前)

決算期	決算日	分配金実績	基準価額
第2期	2018年11月26日	0 円	8,441 円
第3期	2019年11月26日	0 円	9,498 円
第4期	2020年11月26日	0 円	13,557 円
設定来累計		0 円	--

※基準価額は、各決算期末値(分配金落ち後)です。あくまでも過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。

資産別構成比

	ファンド
株式	99.8 %
コール・ローン等、その他	0.2 %
合計	100.0 %

※「コール・ローン等、その他」は未払金等を含んでおり、一時的にマイナスになる場合があります。

基準価額変動の内訳

	21年08月	21年09月	21年10月	設定来
月末基準価額	16,685 円	15,838 円	17,788 円	17,788 円
変動額	+628 円	-847 円	+1,950 円	+7,788 円
うち 株式	+630 円	-1,037 円	+1,700 円	+7,716 円
為替	+20 円	+211 円	+270 円	+764 円
分配金	-- 円	-- 円	-- 円	0 円
その他	-22 円	-21 円	-20 円	-692 円

※月次ベースおよび設定来の基準価額の変動要因です。基準価額は各月末値です。設定来の基準価額は基準日現在です。各項目(概算値)ごとに円未満は四捨五入しており、合計が一致しない場合があります。その他には信託報酬等を含みます。

どなたでもご登録いただけます。

iInfo

iTrust 受益者向け会員サービス



会員限定
レポート



会員限定
セミナー



ラーニング
コンテンツ

詳しくは iInfo 登録ページにアクセス!

「iInfo」で検索

itrust.pictet.co.jp/iinfo_signup



各項目の注意点 [ファンドの現況][設定来の推移]基準価額は信託報酬等控除後です。信託報酬率は「手続・手数料等」の「ファンドの費用」をご覧ください。純資産総額およびその前月末比は、千万円未満を切り捨てて表示しています。[ファンドの騰落率]各月最終営業日ベース。[資産別構成比]マザーファンドの資産別構成比。

◆当資料における実績は、税金・信託財産留保額控除前であり、実際の投資者利回りと異なります。また、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

iTrustエコイノベーション 愛称 EV(電気自動車)/エコ・ロボなど様々な環境テーマが投資対象

追加型投信/内外/株式 [設定日:2017年9月15日]

月次レポート 2021年10月29日現在

ポートフォリオの状況

ファンドの特性

組入銘柄数	58
組入国数	12
組入通貨数	8

テーマ分類構成比

業種名	構成比
1 EV(電気自動車)関連	28.1 %
2 エコ・ロボティクス関連	43.3 %
3 再生可能エネルギー関連	28.3 %
コールローン等、その他	0.2 %
合計	100.0 %

通貨別構成比

通貨名	構成比
1 米ドル	72.0 %
2 ユーロ	17.2 %
3 円	3.7 %
4 韓国ウォン	3.4 %
5 スウェーデンクローナ	1.9 %
その他の通貨	1.6 %
コールローン等、その他	0.2 %
合計	100.0 %

国別構成比

国名	構成比
1 米国	67.5 %
2 オランダ	6.4 %
3 ドイツ	5.3 %
4 スペイン	5.2 %
5 日本	3.7 %
その他の国	11.6 %
コールローン等、その他	0.2 %
合計	100.0 %

地域別構成比

地域名	構成比
1 北米	67.5 %
2 欧州	23.4 %
3 新興国	5.2 %
4 日本	3.7 %
5 --	-- %
コールローン等、その他	0.2 %
合計	100.0 %

◆ファンドの主要投資対象であるピクテ・エコディスカバリー・アロケーション・マザーファンドの状況です。◆株式への投資と同様な効果を有する証券がある場合、株式に含めています。構成比は四捨五入して表示しているため、それを用いて計算すると誤差が生じる場合があります。テーマ分類は当ファンド独自の分類で分類・表示しています。◆株式には米ドルなどの他国通貨で発行されているものがあり、それらに投資を行うことがあります。このため、株式の国別構成比と通貨別構成比は異なることがあります。◆「コール・ローン等、その他」は未払金等を含んでおり、一時的にマイナスになる場合があります。

iTrustエコイノベーション 愛称 EV(電気自動車)/エコ・ロボなど様々な環境テーマが投資対象

追加型投信/内外/株式 [設定日:2017年9月15日] 月次レポート 2021年10月29日現在

ポートフォリオの状況(2)

組入上位10銘柄

組入銘柄数 58銘柄

銘柄名	国名	テーマ分類名	構成比
		銘柄解説	
	米国	再生可能エネルギー関連	4.7 %
1	ネクステラ・エナジー	電力の公益持ち株会社。子会社を通じて、米国フロリダ州を拠点に米国内で天然ガス・風力・原子力などのクリーン・エネルギーを中心とした発電、および送電、配電を行う。	
	米国	エコ・ロボティクス関連	3.9 %
2	トップビルド	住宅用の断熱製品や雨どいなどを販売、設置する米国の建築資材メーカー。	
	米国	EV(電気自動車)関連	3.7 %
3	オン・セミコンダクター	自動車や通信、コンピューティングや医療など幅広い分野向けに半導体の開発、製造、販売を行う半導体メーカー。	
	米国	エコ・ロボティクス関連	3.7 %
4	エクイニクス	世界の主要都市でデータセンターを展開する企業。顧客企業やパートナー企業同士の直接相互接続を可能にするプラットフォームやソリューションなどを提供。	
	スペイン	再生可能エネルギー関連	3.3 %
5	EDプレノバベイス	発電所の設計・開発・管理・運営会社。風力などの再生可能エネルギー資源を利用した発電を行う。	
	米国	EV(電気自動車)関連	3.1 %
6	アルベマール	米国の特殊化学品メーカー。リチウムイオン電池メーカー向けに炭酸リチウムなどリチウムの加工品を提供。	
	オランダ	EV(電気自動車)関連	3.1 %
7	NXPセミコンダクターズ	移動体通信や電子機器など向けの半導体とソフトウェアなどを提供する半導体メーカー。	
	米国	エコ・ロボティクス関連	3.0 %
8	シノプシス	電子機器、半導体などの設計作業を自動化し支援するためのソフトウェアなどを提供。	
	米国	EV(電気自動車)関連	3.0 %
9	アナログ・デバイセズ	自動車や通信など様々な産業向けにアナログおよびデジタルの信号処理用集積回路(IC)などを提供。	
	米国	エコ・ロボティクス関連	2.9 %
10	マーベル・テクノロジー	セキュリティ、ネットワーキングプラットフォーム、ストレージソリューションなどに関する半導体と関連技術を提供。	

◆ファンドの主要投資対象であるピクテ・エコディスカバリー・アロケーション・マザーファンドの状況です。◆株式への投資と同様な効果を有する証券がある場合、株式に含めています。テーマ分類は当ファンド独自の分類で分類・表示しています。◆表で示した組入上位銘柄は、特定の銘柄の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、その価格動向を示唆するものでもありません。

iTrustエコイノベーション 愛称 EV(電気自動車)/エコ・ロボなど様々な環境テーマが投資対象

追加型投信/内外/株式 [設定日:2017年9月15日]

月次レポート 2021年10月29日現在

今月のコメント

運用状況(市場概況)

世界の株式市場は月間で上昇しました。

世界の株式市場は、上旬は、米国やユーロ圏の景況指数が改善傾向を示し景気が回復基調にあることが示されましたが、エネルギー価格の高騰やサプライチェーン問題などを背景にインフレ懸念が高まったこと、米国の債務上限引き上げを巡る動きなどが影響し、上値の重い展開となりました。しかし中旬以降は、市場予想を上回る良好な7-9月期の企業決算の発表が続いたことや、9月の米小売売上高などの経済指標が市場予想を上回ったことなどを受け上昇基調を維持し、月間では大幅上昇となりました。

このような環境下、当ファンドの投資対象である環境関連株式は大きく上昇しました。半導体関連や公益、自動車関連などが好調でした。

今後のポイント ※将来の市場環境の変動等により、内容が変更される場合があります。

当ファンドの投資対象である環境関連株式は、中長期的には欧州や米国、日本、中国など多くの国・地域が脱炭素社会を目指す目標を掲げるなど、今後も世界中で環境問題への積極的な取り組みが行われると見られる中、引き続き魅力的な投資対象と考えます。分野別で見ると自動車の電化が急速に進む中でEV(電気自動車)関連が注目されます。またエコ・ロボティクス関連では、製造業においてコスト削減と競争力維持のためエネルギー効率化を進める動きが需要拡大につながると見られます。再生可能エネルギー関連については、太陽光や風力などによる発電コストの急速な低減が進む中、各国の政策が支援材料となると考えます。

投資リスク

[基準価額の変動要因]

- ファンドは、実質的に株式等に投資しますので、ファンドの基準価額は、実質的に組入れている株式の価格変動等(外国証券には為替変動リスクもあります。)により変動し、下落する場合があります。
- したがって、投資者の皆様が投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様にご帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

株式投資リスク (価格変動リスク、 信用リスク)	<ul style="list-style-type: none"> ●ファンドは、実質的に株式に投資しますので、ファンドの基準価額は、実質的に組入れている株式の価格変動の影響を受けます。 ●株式の価格は、政治経済情勢、発行企業の業績・信用状況、市場の需給等を反映して変動し、短期的または長期的に大きく下落することがあります。
為替変動リスク	<ul style="list-style-type: none"> ●ファンドは、実質的に外貨建資産に投資するため、対円との為替変動リスクがあります。 ●円高局面は基準価額の下落要因、円安局面は基準価額の上昇要因となります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

[その他の留意点]

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

ファンドの特色

＜詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください＞

- 主に世界の環境関連企業の株式に投資します
- 特定の銘柄、国や通貨に集中せず、分散投資します
- ご購入時、ご換金時の手数料はかかりません
※ご換金時に信託財産留保額が控除されます。

[収益分配方針]

- 毎年 11 月 26 日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。
 - 一 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
 - 一 収益分配金額は、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。
 - 一 留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

[収益分配金に関する留意事項]

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

※ファミリーファンド方式で運用を行います。

※実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

※資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

手続・手数料等

【お申込みメモ】

購入単位	販売会社が定める1円または1口(当初元本1口=1円)の整数倍の単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。(ファンドの基準価額は1万円当たりで表示しています。)
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
購入・換金の申込不可日	ジュネーブの銀行の休業日においては、購入・換金のお申込みはできません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
信託期間	2017年9月15日(当初設定日)から無期限とします。
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には信託が終了(繰上償還)となる場合があります。
決算日	毎年11月26日(休業日の場合は翌営業日)とします。
収益分配	年1回の決算時に、収益分配方針に基づき分配を行います。 ※ファンドには収益分配金を受取る「一般コース」と収益分配金が税引後無手数料で再投資される「自動けいぞく投資コース」があります。ただし、販売会社によっては、どちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。

【ファンドの費用】

投資者が直接的に負担する費用							
購入時手数料	ありません。						
信託財産留保額	ありません。						
投資者が信託財産で間接的に負担する費用							
運用管理費用(信託報酬)	<p>毎日、信託財産の純資産総額に年 1.463%(税抜 1.33%)の率を乗じて得た額とします。 運用管理費用(信託報酬)は毎日計上(ファンドの基準価額に反映)され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日(当該終了日が休業日の場合は当該終了日の翌営業日)および毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支払われます。</p> <p>【運用管理費用(信託報酬)の配分(税抜)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>委託会社</th> <th>販売会社</th> <th>受託会社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年率 0.65%</td> <td>年率 0.65%</td> <td>年率 0.03%</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、委託会社の運用管理費用(信託報酬)には、マザーファンドの運用指図に関する権限の委託に係る投資顧問会社への報酬が含まれています。</p>	委託会社	販売会社	受託会社	年率 0.65%	年率 0.65%	年率 0.03%
委託会社	販売会社	受託会社					
年率 0.65%	年率 0.65%	年率 0.03%					
その他の費用・手数料	毎日計上される監査費用を含む信託事務に要する諸費用(信託財産の純資産総額の年率 0.055% (税抜 0.05%)相当を上限とした額)ならびに組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料等および外国における資産の保管等に要する費用等(これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。)は、そのつど信託財産から支払われます。						

※当該費用の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

【税金】

- 税金は表に記載の時期に適用されます。
- 以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税 および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して 20.315%
換金(解約)時 および償還時	所得税 および地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して 20.315%

※少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」について

NISA をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。


※外貨建資産への投資により外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※上記は、当資料発行日現在のものですので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※法人の場合は上記とは異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社、その他の関係法人の概要

委託会社	ピクテ投信投資顧問株式会社(ファンドの運用の指図を行う者) 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第380号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会	【ホームページ・携帯サイト(基準価額)】 https://www.pictet.co.jp	
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社(ファンドの財産の保管および管理を行う者) 〈再信託受託会社: 日本マスタートラスト信託銀行株式会社〉		
投資顧問会社	ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイ(マザーファンドの外国株式等の運用指図を行う者)		
販売会社	下記の販売会社一覧をご覧ください。(募集の取扱い、販売、一部解約の実行の請求受付ならびに収益分配金、償還金および一部解約代金の支払いを行う者)		

販売会社一覧

投資信託説明書(交付目論見書)等のご請求・お申込先

商号等	加入協会			
	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第52号	○	○	
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第77号	○		○
四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長(金商)第21号	○		
西日本シティIT証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第75号	○		
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号	○	○	
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第24号	○		
北洋証券株式会社	金融商品取引業者 北海道財務局長(金商)第1号	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○
株式会社伊予銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第2号	○		
ソニー銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第578号	○		○
PayPay銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号	○		○

当資料をご利用にあたっての注意事項等

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。●投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります)に投資いたしますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆さまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。